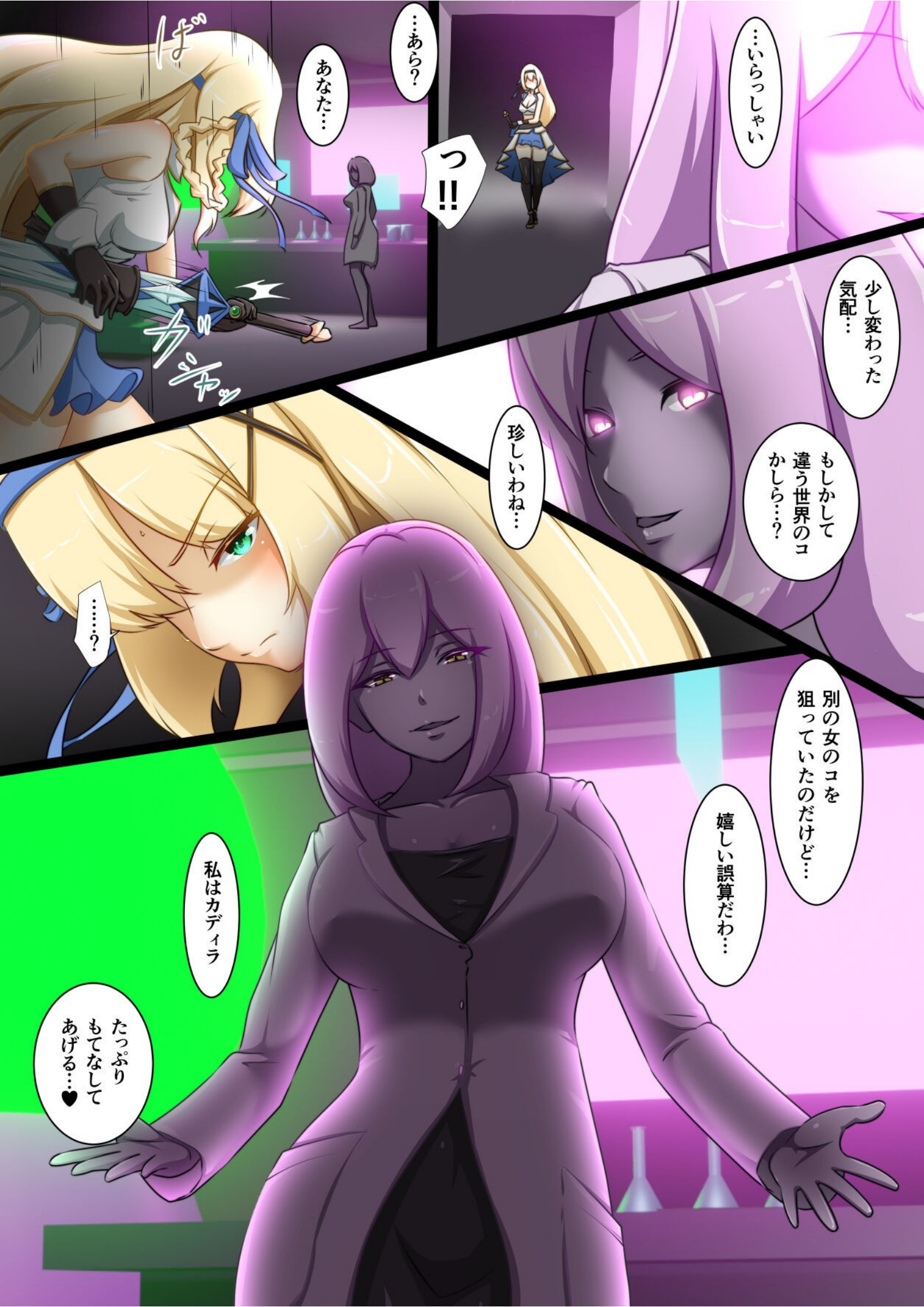


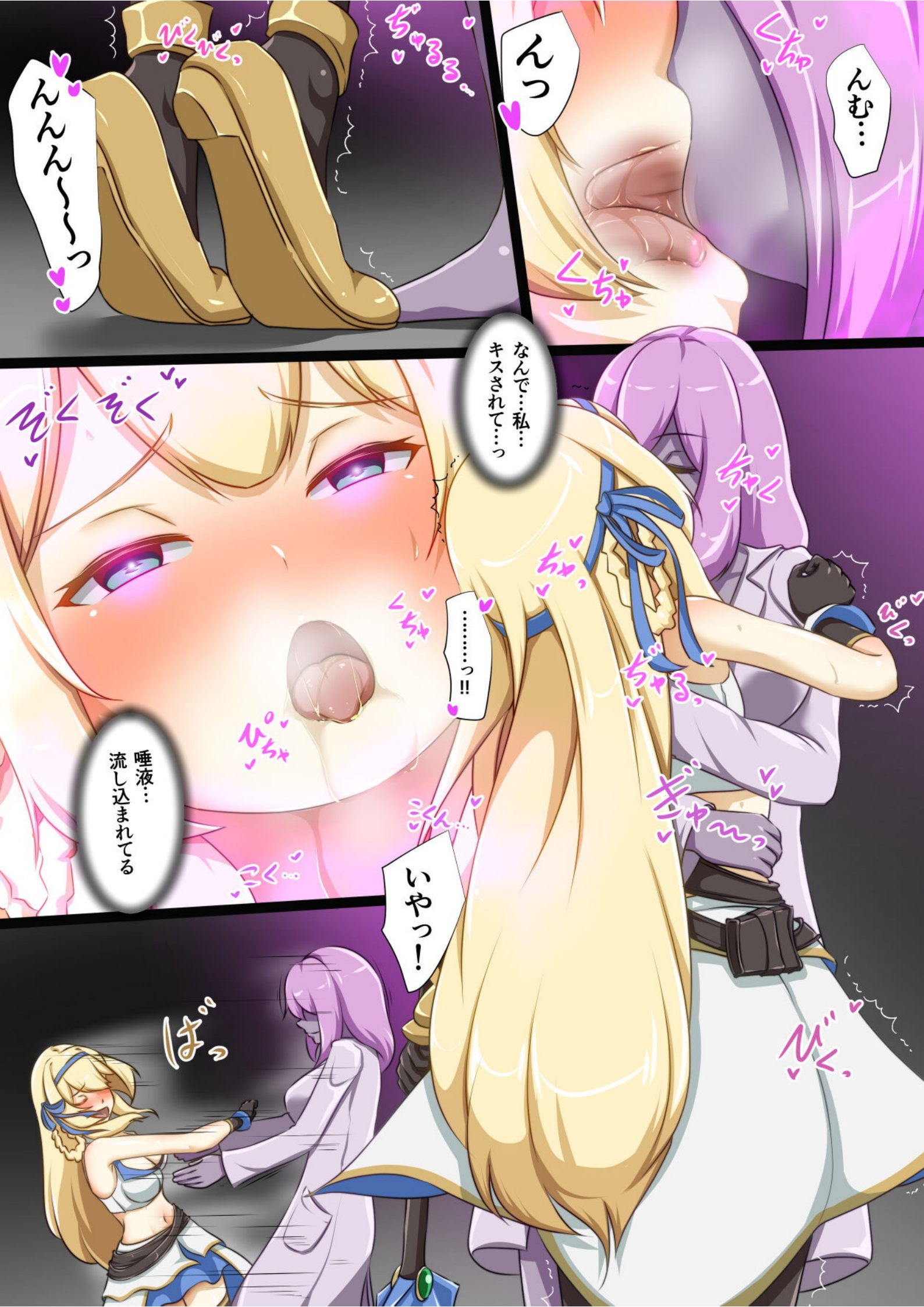

…ここは…一体…？
カッ…
カッ…
普通に森を歩いていたはずなのに…
カッ…
気づいたら…
……え？
コッ…
空間転移か幻覚か…
なんにせよ…
何者かに仕掛けられている…！
チャ…


…いらっしゃい
少し変わった気配…
もしかして違う世界のコかしら…？
別の女のコを狙っていたのだけど…
嬉しい誤算だわ…
私はカディラ
たっぷりもてなしてあげる…♥
…あら？
あなた…
っ!!
ばっ
ガシャッ
珍しいわね…
……？


初めて見る…
…魔物…？
ひた…
不思議な感じ…
ひた…
外見以外は普通の人間みたい…
敵意も殺意も…
特別な力も感じない…
動きも無防備で隙だらけ…
簡単に斬り伏せられる…
はずなのに…
それ以上近づかないで…っ
ひた…
へぇ…
…なぜか倒せる気がしない…
出会って間もないのにすでに色々と見抜いているのね…
可愛いだけじゃない…
ずいぶんと強くて聡い騎士さんね…
素敵…♥


…悪意がないなら私をここから出してくれないかしら？
…だから余計に不気味なのよ…
キーン
でもそれなら私に悪意がないこともわかるでしょう？
そこまで警戒しなくていいじゃない？
ふふ…っ
それはイヤ♥
ぃた…
！


!?
ん…♥
いい腕ね…
そんな…っ
渾身の一撃が…
っ??
ちゅ
う…
す…
びくっ


んむ…
んっ
んんん～～っ
なんで…私…
キスされて…っ
……っ!!
唾液…
流し込まれてる
いやっ！
ばっ


私たちは「魔の者」と呼ばれていてね…
しゅうう……
通常の攻撃や魔法はほとんど効かないの
再生…!?
だから傷をつけられただけでもすごいわ…
はぁ
はぁ
特に私は魔の者の中でも最上位種
普通の人間では私は絶対に倒せない…
私の知る限り私を倒せるのは
1人だけ…♥
無害なあなたに悪意なんて抱きようがないわ…
ただほんの少しあなたで遊びたいだけなのよ…♥
とろ…
ぷクッ
カクカクッ


あなたは
オモチャ♥
理解できたかしら？
……っ！
あ
でも心配しないで
壊れないように
丁寧に扱ってあげる
からね♥
ギリ…
なめるなっ!!
いや…
オヤツの方が
的確かしら…
ガッ
ガッ
ヴ


はぁ♥
はぁ♥
ふふ…♥
あなたも体が火照ってたまらなくなってきたんじゃない？
素直に楽しみましょう？
ばさ
我慢は一番の毒よ
ふぅ…
…黙れ…
ふぅ…
興奮しちゃう…♥
こうして服を脱がされるのは新鮮ね…
ぞくぞく
あら…？
ズバッ
まだ元気ね…
ビッ
キスが足りなかったかしら…？
ガッ
くそ…っ
こっちの攻撃をお構いなしに突っ込んで来られたら…
く…るなぁ…っ


はい
チュー♥
んん…っ♥
甘くて…
気持ちよくて…
ふふ…
捕まえた…♥
私の勝ちね…
…この程度で
私を屈服させた
気でいるなんて…
…おめでたい…
わね…
躱しようが…
ない…♥
ダメなのに…っ
～～～っ♥
コイツとのキス…
……っ♥
病みつきに…
なる…♥


…自覚できていないのね…
ずる…♡
まぁ…まだキスしかしていないものね…
あ…っ
ぐいっ…
今…あなたの体がどんな状態なのか…
ぐぐっ
ぐぐぐ
……っ
ふぅ
ふぅ
教えてあげる…♥


ほら…
ん…っ!?
くる
くる
びくっ
…少し触られただけで…
ぞくぞくっ
指先ひとつで…
すり
すり
びくんっ
全身が…疼く…♥
～～っ♥
容易く鳴かされる
かり
かり
びくっ
あぁっ♥
びくんっ
やっ♥
誰がどう見ても
屈服しているように見えるけど…？
あんっ♥
これ…くらい…
あっ♥
びくっ
なんとも…
あぁん♥
やめ…
あっ♥
あっ♥
びくんっ


ひっ…うそっ
ね♥
ぎゅ～～～っ
あぁぁぁ…


……っ！
キュウウン
あ……♥
力が…吸われて…
ぞくっ…
ぼーっ
ぞくっ…
……あぁ…♥
このままじゃ…何もできなくなる…
ふふ…美味しい…♥
びくんっ
びくっ
……っ♥
もう言い返す余裕もないかしら…？
びくっ
これ以上…イかされるわけには…
!!
ちょ…っ
私が代弁してあげる…
まって…っ
する…↓
くちゅ
あぁ
とろ～


あ、
あなたのような
強く気高い女のコは…
んんっ
ん…お、
ナカ…
すご…い…♥
あん、
…んあっ
やめ…
敗北を受け入れ
られずに
こう言い訳するの…
ぁあっ
「心までは屈していない」
…っ
ん…ぎ…
こんなの…
…ってね


あぁ…っ
ビクンビクン
耐えられるわけ…っ♥
か…っ
ガクン
は…っ
ガクッ


しゅる…
…でもそんなことはどうでもいいの…
ガシャン
続きはベッドで…ね♥
はやく…逃げなきゃ…
はぁ～
はぁ～
…なんとか…
理性が…残ってるうちに…っ
ガクッ
カクカクッ
とさっ
すぐに何も考えられなくなるくらい
快楽でとろとろに蕩けさせてあげるからね…♥


あんっ♥
や…だぁ♥
あぁっ♥
どうして
こんな…正確に…
あっ…♥
んあっ♥
私の弱い
ところを…
あんっ♥
それ…だめぇ…♥
私の弱い
責め方で…
あぁっ♥
全て同時に…
あんっ♥


ぬちゃ…
ひ…あぁ…♥
にゅるるる～…
れろぉ～
自分でも
知らなかった
弱点まで
逃げるスキを探る
どこころじゃない…っ
ちょ…ちょっと…
まっ…て…♥
ふぁ…あぁっ♥
ぞくぞくっ
へはー
へはー
だめっ♥
やっ♥
あっ♥
もぉ…
むり…い♥
んん…っ♥
あんっ♥
あぅう…♥
探り当てられて…♥
つぽっ
つぽっ
お…あっ♥
んく…っ♥
びくん
びくっ


あ、あ、
キュウウ


私…観察と分析が得意なのよ…
あなたの性感帯は全て把握したわ…♥
ヴ…ン…
びくっ
びくっ
はい
びくっ
はい
びくんっ
…さらに…
ポゥ……
ゲゲゲ…
……え？
つ!?
性感帯を付与することもできるのよ…
ずるん
もっともっと気持ちよくしてあげる…


あっ
男のヒトの…
しごかれるのって…
ちゅこ
ちゅこ
あぁっ
あっ
そんな…
ちゅこ
ちゅこ
はげし…
がくがくっ
がくんっ
す…ごっ…
ぐんっ
ぐんっ
こんなに気持ちイイの…!?
だめ
なにか、
てちゃ…
くるぅ～っ
ぐんっ
あぁっ
ぐんっ


どう我慢したらいいのかもわからない…
初めての体験でしょう？
今のは手コキ♥
ぴゅる
ぴちゃ…
ひ、
そしてこれが…
れろ～
あ…
かぷっ
怖い…けど…
あぁ
ちゃぼっ
ちゃるるっ
フェラチオ♥
ちゃぷっ
気持ちイイ…っ♥
ごくっ
ごくんっ
搾り…とられる…♥
あぁぁ
お、お…

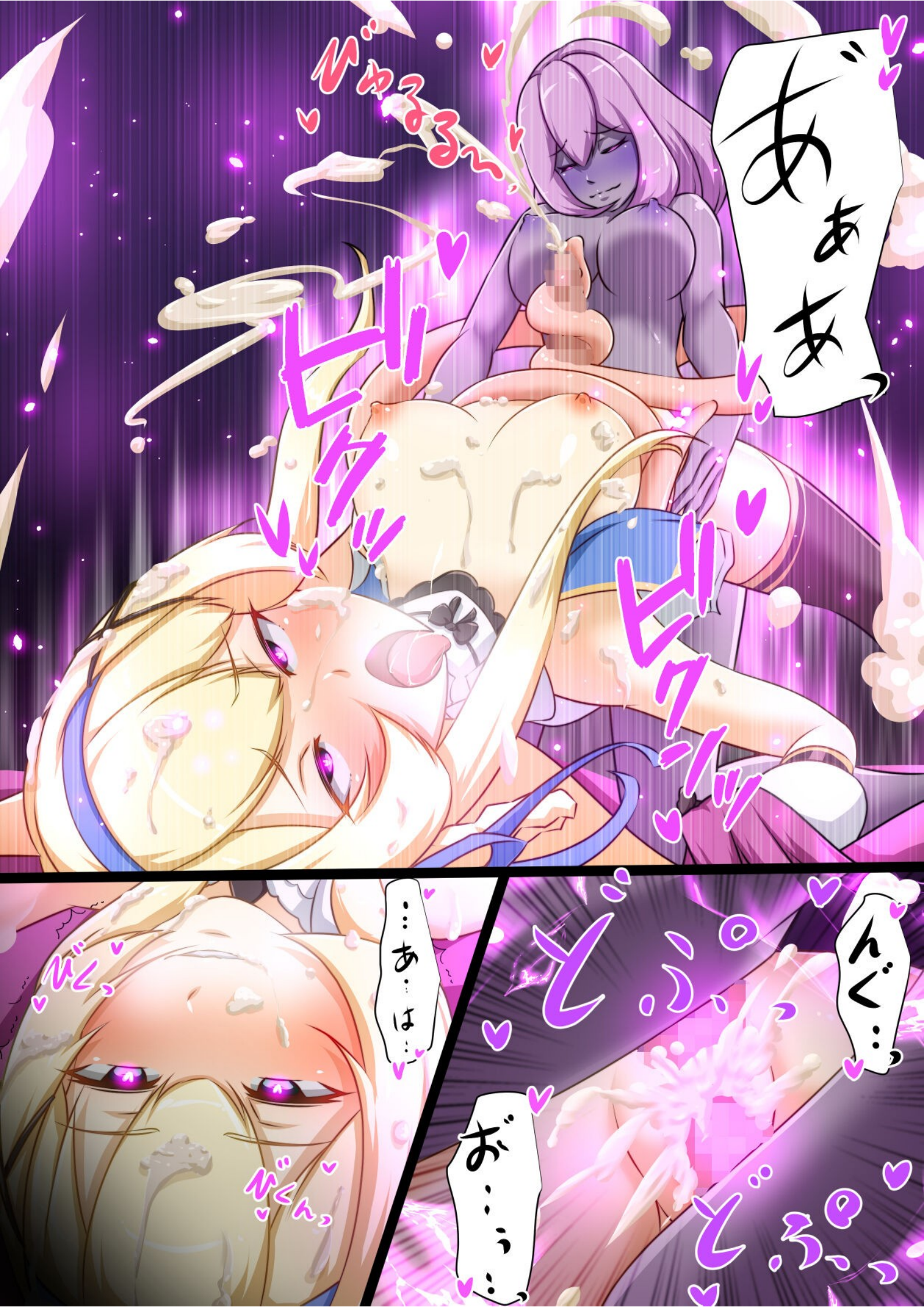

…あぁっ
どちゅっ
ぬちっ
ぶるるんっ
ぶぃんっ
ふふ…っ
ごぶっ
おごっ
出し入れするたびにイっちゃって…
もぉ…
やっぱりナカが一番気持ちいいのね？
ばちゅんっ
イクの…
おっ
いやぁっ♥
ばちゅんっ
ばちゅんっ
死ん…じゃう…っ♥
あっ
びくっ
びくっ
びくんっ
そう…？
ぐすっ
死なれるのは困るわね…
ポーンッ
『絶頂禁止』


ぱんっ
あんっ♥
あっ♥
乳首いじられながら突くの…
気持ちイイ…っ♥
こりこり
なんで…？
こんなに…気持ちイイのに…
どうして…
イけないのぉ…っ!?
ぐちゅ


…どうしてって…
びくっ
びくっ
もうイきたくないって言ったのは…
あなたでしょう？
しゅる…
ひぎぃっ
ずぶぶっ
ぐちゅっ
ごめん…なさい…
ぐちゅ
ぐちゅ
へこっ
へこっ
ずっと辛いの…♥
おねがい…
びくっ
びくびくっ
イけないほうが…
（へはぁ～）
（へはぁ～）
イかせてぇ…♥
ふふ…っ♥


…ワガママなコね…
でも…
まぁ…
ぐるんっ
あ…っ
キィィ…ン
!?
素直に
「ごめんなさい」は
言えたから…
ぶるんっ
許してあげる…♥
……あはっ♥


あぐっ
おっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ
ごりっ
ごっん
ぁぁ〜〜っ
ずりゃりゃっ
や…ぁっ
ぁんっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ
はや…く…
ずりゃっ
ずりゃっ
イかせてぇ
がくんっ
がくんっ
ぱんっ
ん…っ♥
ぞくぞくっ
ぱんっ
待たせたわね…
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ほ〜ん
パ〜ンキッ
っ
一緒にイきましょう♥


あぁあ
びゅるるぅ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
んぐ…
どぷっ
お…う…
どぷっ
…あ…は…
びくっ
びくんっ


あんっ♥
ぎゅっ
あ…っ♥
びくんっ
気持ちイイ…♥
はぁ
はぁ
もっとぉ…♥
少し味わったら解放するつもりだったのだけど…
ねえ…
はやくぅ…♥
びくびくっ
まぁ…
あなたが望むならいくらでも付き合うわ…♥
ふふっ…っ
あ…っ♥
くいっ
…すっかり懐いちゃったわね…
帰らなくてもいいのかしら…？
はぁ
はぁ
ちゅっ
んんっ
しばらくは退屈しなさそう…♥
BAD？END

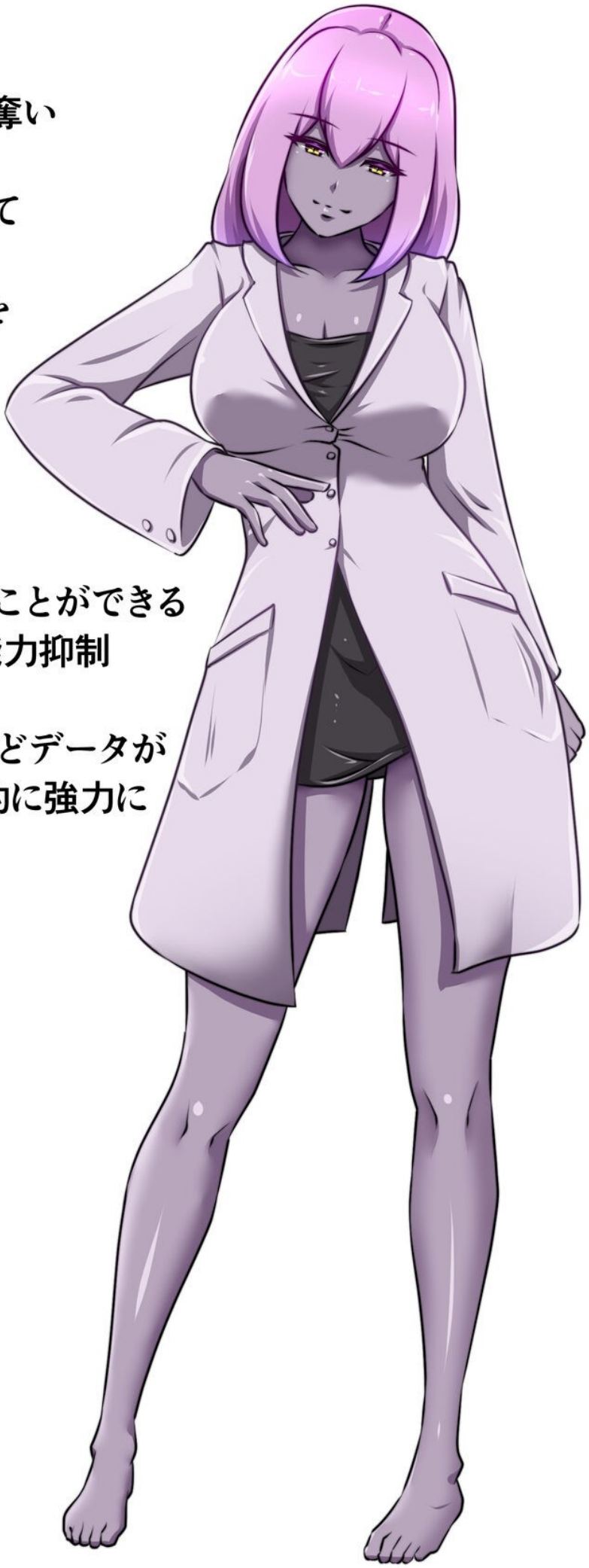




カディラ

Hな攻撃で人間の魔力を奪い
糧とする「魔の者」
その中でも彼女は突出して
高い知性をもつ
人間に興味を持ち、人間を
捕らえては様々な
調査・実験を行っている

能力
奪った魔力を解析し
その相手の体に干渉することができる
最初は魔法妨害や身体能力抑制
程度しかできないが
行動パターンや性感帯などデータが
蓄積していくとより具体的に強力に
干渉できるようになる





カディラ(戦闘形態)

魔力を分析・干渉する能力が
使えなくなる代わりに
戦闘能力が跳ね上がる

研究の一環で自身の体に
様々なモンスターの細胞を
取り込んでおり、多彩な能力を
もつ



























































